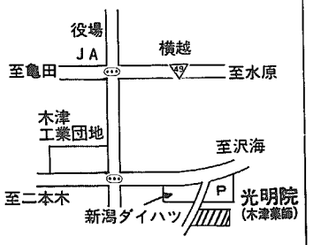
ふるさと散歩 ②

夏の夜空に炎舞う
木津　薬師火祭り

七月二十八日に木津薬師の火祭りが行われます。宵闇みせまる午後7時頃、山伏姿の修験者の入場に始まり火渡り修験の儀式が次々と取り行われます。高々と舞う炎へ護摩を焚いてのご祈とうの後は火渡り、修験者に続いて、近郷近在から集まった子供からお年寄りまで思い思いの願いを胸に火渡りが行われます。



県立病院からのお願い

平成四年七月から毎月第一土曜日と第三土曜日の外来を休診させて頂くことになりました。

なお、急患の方は、今までどおり診察します。

県民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

新潟県立自然科学館　催物案内

特別展 水のワンダーランド

開催期間　7月25日(土)から
8月30日(日)まで
(特別展開催期間中の開館日数32日)

会　場　新潟県立自然科学館
エントランスホール
特別展示室　講堂

主　催　財団法人　新潟県文化振興財団、自然科学館

成分献血にご協力を！

村では、8月6日、午前10時から12時まで役場、午後1時から4時まで塚田牛乳（木津）で、献血を行います。

今回は、従来の200㎖、400㎖献血に加えて、成分献血も行います。

近年、輸血の主流は、「成分輸血療法」になっております。献血していただいた血液を無駄なく、体に負担の少ない成分献血にご協力願います。

成分献血を希望される方は7月20日までに役場保健福祉課へ、ご連絡下さい。

上郷遺跡発掘 作業員を募集

（作業期間 7/27～11/27）

●作業内容　区画された地域を調査員の指示に従ってシャベル・移植ゴテなどを使って掘り下げ、中世の水田址をあらわし、土器片などの遺物を見つけます。

また、一輪車などで排土を搬出したり、ベルトコンベアの移動などを行うこともあります。

●雇用条件

〈年令〉おおむね70才以下で日常生活に支障のない健康な方

〈賃金〉男女とも日額五、四〇〇円

〈募集人員〉25～30名

〈休日等〉原則として、土・日曜日、祝祭日は休み

〈通勤手当〉支給無

〈応募締切〉7月15日(水)

●申し込み先

新潟県埋蔵文化財調査事業団本部　Tel 223－5642

7月10日から村民プール開放

期間　7月10日～8月31日

時間
▽平　日　16時～18時
▽土曜日　13時～17時
▽日曜日　10時～12時
13時～17時

※8月11日(火)は水入替のため休みます。

※8月13日・14日は日曜日と同じ時間帯で開放します。

◎中学生以下のプール利用は保護者同伴をお願いします。

村民プール使用料のお知らせ

平成元年十月より公共施設の使用料が徴収されることになり、村民プールも小学生以上一回につき一人一〇〇円を頂くことになっています。(同伴者は無料)

なお、お金を持ち歩かなくてもよいように、中央公民館で利用券（11枚綴で千円)を販売いたしますので、ご利用ください。

また、未使用の利用券については9月末日まで中央公民館で払い戻しをいたします。

記録映画
「阿賀に生きる」
横越 上映会

と　き…7月29日(水)
午後7時～9時30分

ところ…横越小学校体育館

入場料…大人 1,500円（前売は1,200円)、中高校生 1,000円（前売も同じ)、小学生 500円（前売も同じ)

主　催…阿賀に生きる横越上映実行委員会

問い合わせ先…本間　一人
(TEL 385-2225)

9月15日は NHK特別巡回 ラジオ体操会

国際理解講座 参加者募集

●講演テーマ　最新のアメリカ事業
●講　　師　シカゴ総領事館2年勤務の県職員とアメリカ人国際交流員の講演
●開催日時　7月17日(金)　午後6：30～8：30
●開催場所　(財)新潟県国際交流協会研修室（新潟市新光町16－4）
●参加費　無料
●申込み・問い合わせ　7月6日(月)迄
電話で285－6020へ

壮年野球大会 参加チーム募集

▽参加資格
○昭和28年4月1日以前に生まれた者で、次のいずれかに該当する者
・本村に現住所を置く者
・本村に有する事業所に勤務する者
・横越中学校OBである者

▽申し込み
7月27日(月)までに参加費一〇〇〇円を添えて中央公民館へ

▽組合せ抽選会
7月30日(木)　午後7時30分から横越村中央公民館で

▽試合日
8月2日(日)　午前7時から

木津工業団地 企業紹介シリーズ⑩

ゆたかな実りを確かな技術で支える。

柴田屋加工紙株式会社

ここが自慢です
独自ブランド『ハイデンマルチ』

農業に関連する製品をお届けする柴田屋加工紙は、畑の地面をおおい、土の乾燥をふせいだり、やわらかさを保つ役割をする「ハイデンマルチ」を開発。独自ブランドとして商標登録されています。この高密度ポリエチレンフィルムは、当社独自の加工技術で成型したもので、なによりも、うすくて丈夫。被覆作業が容易で、フイルム除去作業も容易。フィルム片が土中に残ることもありませんから、畑の土質を低下させる心配もありません。また、うすいため持ち運びも便利です。農業の労働力を軽減し、省力化に貢献するものとして高い評価を得ています。この製品に限らず、当社は研究開発室を中心に、製造現場の声を活かしながら数多くの新製品を開発。特許製品も多く創造しています。

柴田屋加工紙㈱木津工場

付加価値の高い製品をめざす畑野社長

開発力・技術力ともにすぐれている柴田屋加工紙は、業界のトップメーカー。北は北海道から南は九州まで営業を展開。果実袋の売上額は業界の上位を占め、自社ブランドのハイデンマルチは、売り上げ、生産量ともに業界のナンバーワンです。

日本全国の産地に、柴田屋加工紙の製品。

果実袋といってもピンとこない人が多いかも知れませんが、実はリンゴやナシなどの果実を包む袋のこと。名前は知らなくとも私達がよく目にしているおなじみのものです。柴田屋加工紙は、この果実袋を製造する大手メーカーであり、また商店などで使用される包装資材や、農業用ポリエチレンなども製造。更に果実袋をつくるための機械までもつくっています。その技術力には定評があり、シェアは日本全国の産地に広がり、業界に堂々とした地位を築いています。

ユーザーの声を活かした、果実袋を製造。

ひと口に果実袋といってもその種類は色々。通常でも200～300種揃っています。当社はより農家の人が作業しやすい形態で丈夫なものを、と考え、常に産地の人達の生の声を活かして商品を企画。新製品のサンプルをつくり約200坪の試験用畑でテスト、その後製品化を図ります。特に袋が素早く取り付けられるよう工夫された止め金入りの果実袋は好評で、科学技術庁の長官賞を受けました。

＜工業団地を選んだ理由＞
業務拡張のため、新製品の拡売をめざして木津工場を新設した。

＜取り巻く環境＞
果実袋等については、洋梨等の新品種の導入で将来的に明るいイメージがある。
また、新品種の高級化等により将来的の需要は堅調であり、見通しは明るい。

＜21世紀に向けて＞
技術的な問題もあるが、付加価値の高いものをつくっていけば明るい展望がある。
それと現在、8月完成を目指して社員の厚生施設と研究塔を新設中で、社員の福利厚生や近代的工場で働きやすい職場環境づくりも目指している。

■主な取引先
県内のＪＡ
県外の経済連
岩谷産業㈱

■会社のあゆみ

明治初年	新潟市酒屋町で操業開始
昭和25年	株式会社設立
昭和37年	二本木工場新設
昭和44年	本社工場を二本木工場に統合
昭和49年	果実袋止金封入装置で科学技術庁長官賞受賞
昭和54年	農ポリ「ハイデンマルチ」独自開発で販売
平成2年	木津工場団地に木津工場を新設

●会社の概要

設　立	昭和25年11月17日
資本金	九、八〇〇万円
売上額	約三〇億円
社員数	140名(横越在住22名)
事業内容	果実育成袋製造、ポリエチレン製品製造、農産物出荷資材、機械、その他
事業所	二本木、木津工場